

# 臨床検査医学

## 専門領域：臨床検査医学

### モデルケース

#### 1. 大学院コース

大学院に入学し、関連領域の研究に従事する。

コースの内容：

尿中および血中蛋白物質の病態上の意義、局在、機能に関する研究。ヒトプロテイン-1 構造遺伝子の多型性と病態解析など核酸検査を用いての研究。

#### 2. 臨床検査専門医コース

主として附属病院に勤務し、各種臨床検査を研修する。具体的な研修項目には a) 臨床検査医学（臨床病理学）総論、b) 一般臨床検査学、c) 臨床血液学、d) 臨床化学、e) 臨床微生物学（感染症学を含む）、f) 臨床免疫学、g) 輸血学である。研修の時期と期間に関しては、適宜決定し、調整する。

##### (1) 研修目標

各種臨床検査に関して臨床医のコンサルタントとして機能できるべく、適切な検査計画を立て、得られた検査成績を総合的に評価し、患者の病態診断ができることを目標とする。さらには予防医学的見地から、臨床検査を通じて健康管理の実践に関する知識を得て、貢献できるようになる。臨床検査専門医の受験資格習得には5年間の研修が必要であるが、資格習得時に臨床検査医の診断・コメントが必要な各種検査報告書の発行ができる能力を身につけるようにする。

##### (2) 研修計画

- a) 臨床検査医学（臨床病理学）総論
- b) 一般臨床検査学
  - 尿検査、糞便検査
- c) 臨床血液学
  - 血液像、骨髓像、染色体分析
- d) 臨床化学
  - 免疫電気泳動、簡易化学検査
- e) 臨床微生物学（感染症学を含む）
  - 微生物学的検査、院内感染対策
- f) 臨床免疫学
  - 免疫学的検査

g) 輸血学

血液型判定、交差試験

担当連絡先／臨床検査医学講座・助手 赤坂和美

電話 0166-68-2745

Eメール アドレス

akasakak@asahikawa-med.ac.jp